

「特別支援学校におけるチーム力向上とマネジメントの実際」

日時	平成29年8月23日(水)～24日(木)	受講者	24名
目的	教員の指導力や専門性の向上のために OJL を推進し、校内のマネジメントの実際について研修を行い、校内の調整力、実践力の向上を図る。		
講義1・演習1	「特別支援学校における校内組織の活性化と専門性の向上」	特別支援教育センター 指導主事	富村 和哉
発表・協議	「各校の課題と今後の取組」	特別支援教育センター 主任指導主事・指導主事	
講義2・演習2	「学習する組織創造としての OJL ～OJL コーチングの実際～」	立正大学 経済学部	小野寺 哲夫 氏

<講義1・演習1>

「校内組織の活性化と専門性の向上」のために、自分から考えて学んでいく、創り出していく組織を目指して、OJL の考えを3つの柱、5つの要素(自己マスタリー、システム思考、共有ビジョン、メンタルモデル、チーム学習)で整理して考えました。実際に演習等も交えながら、OJL についての理解を深めることができました。



<発表・協議>

県内23校の OJL サポート教員の先生方の取組について、2グループに分かれて発表と協議を行いました。各校の取組から、自校の取組に生かそうと考えたり、組織の活性化に向けた意見を出し合ったりするなど、今後の取組に向けてのヒントを得ることができました。



<講義2・演習2>



立正大学経済学部で教鞭をとる小野寺哲夫先生から、自ら動き、考えていく組織(学習する組織)を目指すための OJL の考え方を楽しい演習を交えながら教えていただきました。OJL の5つの要素の他に、小野寺先生らが「ふくしまパラダイム」と名付けている追加5要素(ポジティブシンキング、ユーモア、エンパワメント、ソーシャルキャピタル、コーチング)について、具体的に教えていただきました。

実際の企業などの研究・分析等も交え、組織の活性化に向けて、研修者自身が自分と向き合う機会を設けながら、実践的な知識、演習に取り組みました。



受講者の感想(対象:特別支援学校の OJL サポート教員)

- 「学習する組織」について、初めて聞いたこともあり、難しいと思いましたが、用語等をおさえ、その本質を自分でさらに勉強していきたいと感じました。今の学校の課題を解決していく上で、生きてくるものと実感できています。
- 活性化に向けた必要な視点を学ぶことができました。小野寺先生の講話や VTR 資料には、本当に多くのことに気づかされました。今後活かそうな所から、アクションを起こしてみようと思いました。
- 発表・協議と2日間にわたりたっぷり話すこと、聞くことができ実りが多かったです。また、それぞれの学校の特色を知ることができ、「自校でもやってみよう」と思えることがたくさんありました。
- 同じ意識をもつ先生方が集まるこの研修会は、OJL を進めていく上でもとても有意義な活力をいただける2日間でした。このような考えをもつ方が、校内にも一人ずつ増えていくだけでも、変化していくんだろうなあと思いました。OJL の取り組み、地道に努力していきたいと思いました。
- 普段自分がなんとなく考えていることが、理論として説明いただき、やはりそうだったのかとスツとすることが多かったです。今回学んだことを自分なりにもう一度考え、これから生かしていきたいと思えます。
- OJL について学ぶことは自分を見つめ直すことでもあると思いました。